

(別記様式第 15 号)

## 平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

小谷村

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える 豊かな地域づくり	緩衝帯整備
事業費 1,208,000円 (うち支援金:910,000円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

- 地域の森林・林業の現状と課題  
村民をはじめ多くの観光客が利用するチップロードであるが、有害鳥獣（特にツキノワグマ）の出没が確認されるため、周辺森林の緩衝帯整備が必要である。
- 本事業の目的  
緩衝帯整備により、有害鳥獣による人身被害等の防止及び森林保健施設（ウッドチップロード）の機能の向上を図る。

### 事業内容

- 実施場所 梶池ウッドチップロード、コルチナウッドチップロード
- 対象者 チップロード利用者（観光客・村民）
- 実施方法 緩衝帯整備（委託による実施）
- 事業目標及び当年度事業量
  - 全体計画（平成 30～34 年度）  
梶池ウッドチップロード 4.84ha コルチナウッドチップロード 3.76ha の緩衝帯整備を毎年実施
  - 平成 30 年度計画  
上記緩衝帯整備を実施

( 写 真 )

( 写 真 )

別添のとおり

## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

村民だけでなく観光客も多く利用するウッドチップロード周辺の森林の緩衝帯整備を実施することにより、有害鳥獣による人身被害等の防止及び森林保健施設の保健機能の向上が期待できる。

### (2) 継続性

毎年7月中に事業実施することにより、グリーンシーズン期の利用促進及び有害鳥獣からの人身被害等防止が期待でき、継続性がある。

### (3) 普及性

県道及びホテル周辺に位置し、村民はもちろん観光客に向けても緩衝帯がきれいに整備されていることがわかり、普及性が高い。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

ウッドチップロード周辺の森林の緩衝帯整備を行う事により、林地内の見通しが格段に良くなり、ツキノワグマ等野生鳥獣による人身被害を未然に防止することができた。また、観光地の景観形成にも大きな効果があった。

### (2) 課題

ツキノワグマ等による人身被害を含む野生鳥獣害を防止するため、また、観光地の景観形成を行うために、緩衝帯整備を継続して実施する必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

梅池ウッドチップロード 4.84ha コルチナウッドチップロード3.76haの緩衝帯整備を引き続き実施する。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)